

Ⅱ 巻き差し

細工は簡単ですが、このスリングロープ1本で荷を吊ると、吊り荷といっしょにワイヤーロープが回転して、細工した部分が抜ける可能性があります。したがって、スナッチブロックの台付け用などに、用途が限定されます。

巻き差しでは、細工した部分の各ストランドが太くなるので、ワイヤーロープ内部に空隙ができます。これを埋めるため、余った芯綱を中に入れ込む必要がありますが、1本目の細工をすることにより、自然に入っていきます。

1 構え



アイ（輪）を手前に向け、ワイヤー本体を前方へ伸ばす。芯綱のあるストランド束を左上に向けて構える。

2 芯綱を抜く



左側のストランド束から芯綱を根元まで解く。芯綱は、図のように右上に向けて伸ばす。

3 差し始め



右手に持ったシノ（丸棒タイプ）の先端を図のように差し込み、ストランドを1本だけすくう。芯綱とシノの位置関係に注意。

4 シノを回す



右手で持ったシノを右へ回して垂直にする。
シノで押さえた芯綱が、中へ入っていくことに注目。

5 1本目のストランド



左側の束から一番内側（右端）のストランドを
根本までほどき、左手で持つ。

6 差し込み



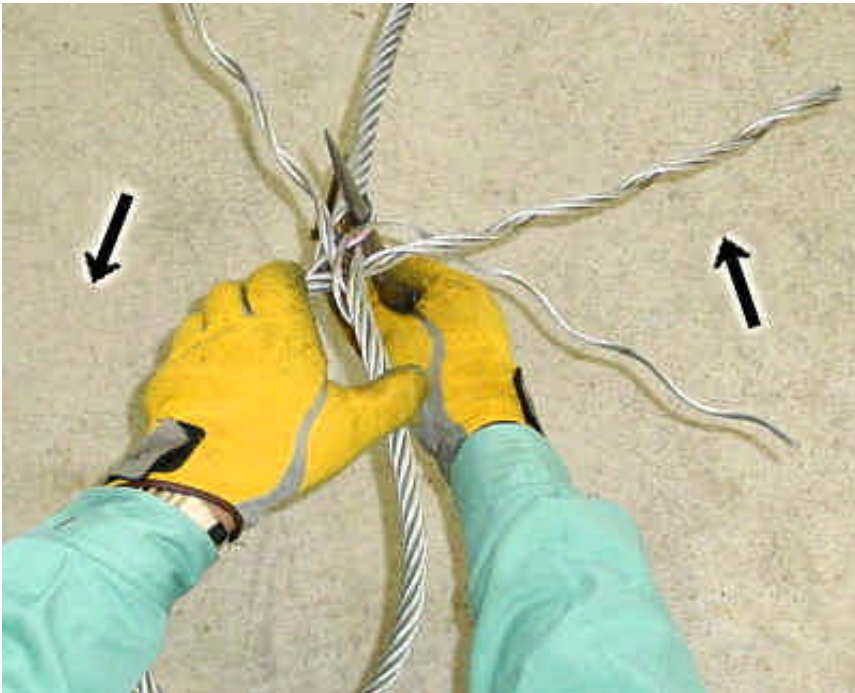
左手で持ったストランドを親指で曲げ、シノの手前の
隙間に差し込む。

7 引き抜き



差し込んだストランドの先を右手で持って下（手
前）へ素早く引き抜く。

8 持ち変え



→
両手で図のように持
ち、そのままの状態
で全体を左へ回す。

9 裏返し



10 シノの送り



左手でアイ（輪）とストランドをまとめて持ち、シノだけを右下へ回す。シノの回転角は必ず 180° にする。

11 シノを垂直に



アイ（輪）の部分は水平に、シノを垂直にする。この動作に伴って、自動的に芯綱が中へ入っていく。

12 ストランドを握る



同じストランド（1本目）を持ち、手前に引いて少し締める。

13 2回目を差し込む



ストランドの先を曲げて、6と同様にシノの手前側に上から差し込む。

14 引き抜き



ストランド先端を右手で持ち、下方へ素早く引き抜く。

15 1本目の完了



この作業をあと2回（合計4回）繰り返す。

16 2本目の最初



最初の位置に戻り、ストランドが2本残った側を左に向けて構え、図の位置へシノを差し、1本だけすくう。

17 ストランドを握る



次のストランド（1本目の右隣）を4～15と同じ要領で合計4回差す。

18 3本目



3本目も図の位置から始め、同様に4回差す。

19 3本目完了



差したストランドがほぐれているのが良好な状態。

20 裏返し



アイ（輪）を裏返し、図の形にする。

21 4本目の最初



1本目（3）と同様の位置にシノを差す。

2 2 4本目のストランド



内側（右側）のストランドが4本目。
6～15と同じ要領で4回差す。

2 3 5本目のストランド



5本目も図の位置から始め、同様に4回差す。

2 4 6本目のストランド



6本目も図の位置から始め、同じ要領の繰り返し。

2 5 本差しの完了



6本のストランドを4回つつ差した状態。

2 6 叩いて整形



左手で図のように持ち、アイの根本からストランドに添って（図では右から左へ）転がしながら叩いてくる。

差したストランドがほぐれて、本体側のストランドに馴染むようにするのがポイント。

7または14の時に、差したストランドを素線のよりと逆にねじることで馴染みが良くなる。

27 半差しの最初



図のように、芯綱が出ているところにシノを差し、1本だけすくう。
左手の親指で押さえているのが、次に差すストランド。

半差しは必ず行うこと。
半差しをしないと太さに段差ができるが、スリングロープに張力が加わると、この部分に応力が集中し、著しく強度を低下させることになる。

ストランドを差す回数は、本差し4回と半差し1回、又は本差し3回と半差し2回でも良い。
合計5回以上必須。

28 シノの送り



シノを右へ回して垂直に立てる。

29 半差し1本目



最初に差すストランドを左手で握る。

30 ストランド先端



ストランドの先端を軽くつまむ。

31 ストランドの分解



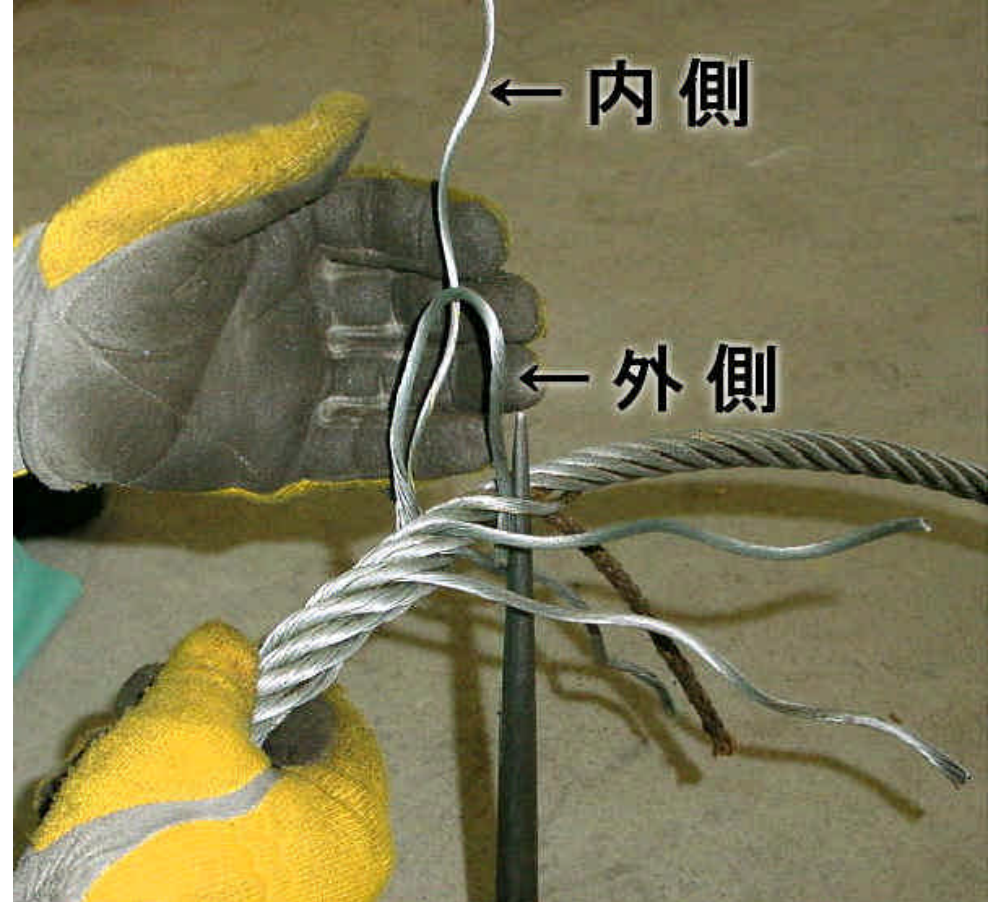
先端のよりを逆にねじってほぐす。

3 2 ストランドを割る



ほぐしたストランドを、外側と内側に分けてまとめ、根本まで分割する。

3 3 半差し



内側は差さずにそのまま残し 外側だけをまとめて差す。これを6本のストランド全部に対して行う。

3 4 半差し完了



てを半差しすると、12本のストランドが花びらのように開く形になる。

3 5 整形



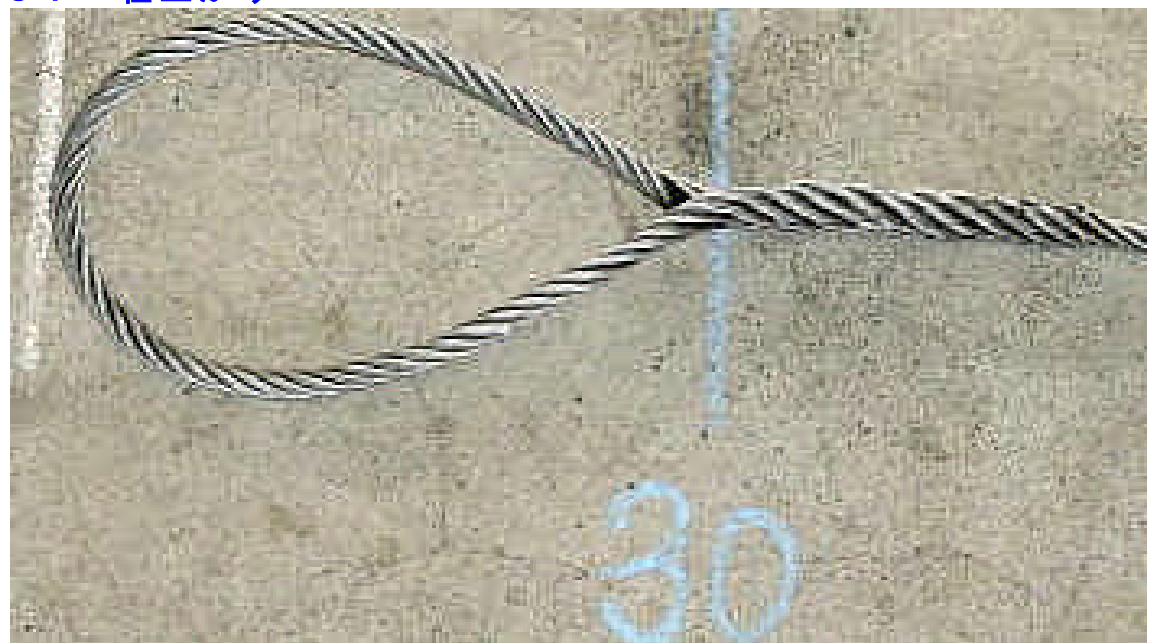
全図のようにワイヤーを握り、転がせながら手前に向かって（図の右から左へ）ハンマーで叩いて整形する。

3 6 切断



STRINGカッターで余ったストランドと芯綱をなるべく根本から切り取る。

3 7 仕上がり



切り残った先端を再度ハンマーで叩いて、ワイヤーロープ本体に添うように整形すれば完成。

差したストランドが、本体の各ストランドにほぐれて巻き付き、よくなじんでいるのが理想的な状態。

アイ（輪）の部分の直径は、約30cm程度に仕上がる。